



◀ボンジュール！

サン・マルコ少年少女合唱団

7月15日から16日にかけて、フランスのリヨン市からサン・マルコ少年少女合唱団一行46人が来笠しました。

初日の15日には、市長を表敬訪問した後、貫閑講堂で笠岡小学校の児童たちと歌を通じて交流。夕方には、神島自在天神で、天神祭の神輿をかついで、日本文化を体感。みんな楽しそうな表情で「チョーサヤ！」のかけ声をあげていました。



翌16日には、市民会館で笠岡みたけ少年少女合唱団とのジョイントコンサート。サン・マルコ少年少女合唱団は「アヴェ・マリア」などでその天使の歌声を披露し、最後にはみたけ少年少女合唱団と「花いちもんめ」や「赤い靴」を日本語で一緒に合唱しました。



七月四日、カブトガニ繁殖地などの海岸で「リフレッシュ瀬戸内」海岸クリーン作戦が行われました。
参加したのは、カブトガニ保護団体や企業、市民ボランティアなど約九百人。早朝とはいえ汗がにじみ出るほどの暑さの中、手に火ばしとごみ袋を持って、一生懸命に空き缶などを拾い、約七トンのごみを回収しました。

▶ももっちと一緒に きれいな海に



◀大きくなって帰ってきてね

7月11日、横島の大殿州海岸と西大島新田で、カブトガニの幼生放流が行われました。

これは、カブトガニ博物館が毎年実施しているもので、昨年制定された「カブトガニ保護月間」中の行事として行われました。今回放流されたのは、5・6歳幼生。一般参加者を含む206人が、10円玉ほどの小さなカブトガニたちを海に放しました。

▶水難事故から人命を守れ！
笠岡地区消防組合は、七月八日、九日の両日、市営プールで水難救助法の研修会を行いました。
参加した消防隊員は、相手が抱きついてきた時の対処法や、気道を確保しながらの運び方などの訓練を実施しました。また、レスキューチューブを使った救助法などにも取り組んでいました。

